

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年1組 男19名 女9名  
指導者 杉 浦 美 香 子

# まとまりに気をつけて、とくいなことのせつめい書を作ろう

中心学習材「せつめい書を作ろう」（光村図書3年下）

＜育てたい主となる能力＞

◎文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。（書イ）

＜主となる言語活動＞

◎友達に自分の得意なことやその上達方法を紹介するための説明書を作る。

### 1 子どもと単元について

#### (1) 学習者観

子どもたちは、これまで「書くこと」の学習として、「おもしろいもの、見つけた」では、知らせたい相手や内容に応じて伝えたいことが明確になるように事柄ごとのまとまりを意識して書くことを学習した。その中で、自分が見つけたおもしろいものをクラスの友達に分かりやすく伝えるため、様子について詳しく取材し、文章の組立て方を考えて紹介文を書くという言語活動を行った。共通題材と自由題材で2回繰り返して書く活動を取り入れたことにより、事柄の内容からまとまりに分けて文章構成を考えたり、分かりやすく説明するために必要な文章や言葉を考えたりしながら文章を書くことができるようになってきた。また、「すがたをかえる大豆」では、一つの段落は同じ要素の事柄で構成されていることを学び、段落意識が高まってきている。その後の「食べ物のかせになろう」の学習では、身近な食べ物について図鑑や事典を使って調べ、表現する言語活動を行った。

これらの学習を通して、内容のまとまりや伝えたいことの中心を意識しながら分かりやすく文章を書くことができるようになってきている。全体的に、自分の身の回りから題材を見付けることに興味をもち、取材して書いたり発表したりする学習に意欲的に取り組む姿が見られるようになってきている。

#### (2) 学習材観

本単元「まとまりに気をつけて、とくいなことのせつめい書を作ろう」は、相手や目的に合わせて説明したいことが読み手によく分かるように、段落相互の関係などに注意し分かりやすく説明できるようにすることをねらいとしている。

本学習材「せつめい書を作ろう」は、自分が経験して上手になったことや得意になったことを、まだできていない相手に教える目的で分かりやすい説明書を作るという学習材である。事例作文は、一輪車に乗る方法を友達に教えるという目的で作られた説明書であり、次のような工夫をして書かれている。まず、できるまでの過程を段階的に区切り、小見出しを付けて説明していくという段階意識を踏まえている。次に、様子を具体的に表す言葉、呼びかけや励ましの言葉などを使うことで、より相手を意識した叙述の工夫を行っている。さらに、絵や図を説明の補助として活用し、文末を常体で統一し簡潔に書いている。これらの工夫により、分かりやすい説明書となっている。

本単元は、自分ができるようになったことや得意なことを友達に知らせる目的で説明書を作る活動をしなが、事柄の内容や順序によってまとまりを作ったり、相手に分かりやすく伝えるための構成の仕方や相手の興味を引く効果的な文章の書き方を学んだりすることができる単元であると考えられる。

#### (3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、まず、教師の得意なことを紹介しながら「ぼく・わたしの自慢大会」を開き、今までの経験の中から自分ができるようになったことや得意なことをいくつか発表し合うことで、子どもたちが「知らせたい」「伝えたい」また、「自分もやってみたい」「できるようになりたい」という気持ちを持ち、説明書作りへの意欲が高まるようにする。学級の友達に向けて、自分の得意なことを紹介するた

めに説明書を書き、「レッツ・チャレンジ大会」という、説明書を基に挑戦してみるという単元のゴールを明確にして学習計画を立てる。

第2次では、事例作文「一週間で一輪車に乗れる」を読み、文章構成や説明書特有の叙述のきまりや工夫を見付けることができるようにする。事例作文から「標題」「目次」「注意事項」「本文」という説明書の基本的な構成を学び、どのような構成の仕方が読み手にとって分かりやすいか考えさせる。具体的な説明部分の構成については、目次になっている小見出しを組立て表に書き直し、小見出しの部分が目次になっていること、内容ごとにまとまりを作って順序を考えながら説明していること、そしてそれぞれのまとまりが説明したいことを中心を考えて小見出しを作っていることに気付くことができるようにする。さらに、事例作文の一つ一つのまとまりの中に見られる読み手の興味を引く書き方について話し合うことで、本文が「見出し」「説明」「絵図」「ちょっと一言」で構成されていることに気付かせる。事例作文は、1文を簡潔にし、2、3文で書いているが、1文を長く書いた文章を提示し比較させることで、分かりやすい説明の仕方を考えさせる。また、読み手を引き付ける標題とそうでない標題や、本文の中に呼びかけの言葉がある場合とない場合を提示し比較させることで、どちらが読み手の興味を引き付ける書き方をしているかを考えることができるようにする。

第3次では、取材メモの書き方や組立て表の作り方、読み手の興味を引くための工夫の仕方など、事例作文で学んだ説明書の書き方の知識・技能を活用して、自分が説明したい得意なことについての説明書を書く。

第4次では、説明書を発表し合い、説明書を基に挑戦したいことを決めることができるようにする。その後挑戦してみる期間を設け、友達の説明書のよさを確認することができるようにする。

#### (4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・観察や実験の過程や結果を、項目を立てて整理しまとめる。(理科)
- ・見学やインタビューをして調べたことや分かったこと、考えたことを、視点を明確にして相違点や共通点をとらえて記録・報告する。(社会、総合的な学習)
- ・体験活動を振り返り、学んだことを記述してまとめる。(特別活動、総合的な学習)

## 2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎自分が得意なことの中から説明しようとする題材を見付け、読み手によく分かるように工夫をして説明書を作ろうとする。	・自分が得意なことの中から説明したい題材を決めたり、分かりやすく伝えるための様々な工夫をしたりしながら、説明書を作ろうとしている。
書く能力	◎説明したいことが読み手によく分かるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成し、説明書を書くことができる。(書イ)	・説明したいことが読み手によく分かるように、事柄ごとにまとまりを作り、段落を意識しながら説明書を書いている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○句読点を適切に打ち、段落の始めは行を改めて書くことができる。 (イ(エ))	・句読点の打ち方に気を付け、段落ごとに改行しながら書いている。

3 学習指導計画（全 11 時間）

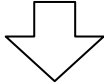
【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

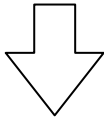
第 1 次  
単元のねらいを知り、  
学習の見通しをもつ。  
（1 時間）

- ① 「ぼく・わたしの自慢大会」を開き、自分の得意なことを紹介するために、説明書を作る見通しをもつ。
- <評価> \_\_\_\_\_
- ① 自分ができるようになったことや得意なことを見付けて、ワークシートに書いている。  
《ワークシート》



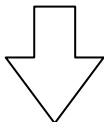
第 2 次  
事例作文を読み、説明書の書き方を理解する。  
（3 時間）

- ② 事例作文「一週間で一輪車に乗れる」を読み、目次を基に組立て表を作り、内容ごとにまとまりに分けて説明していること、まとまりに小見出しを付け、その小見出しが目次になっていることを理解する。
- ③ 組立て表から取材メモを作り、説明したいこと、中心や、順序を考えて組立て表が作られていることを理解する。
- ④ 読み手の興味を引く表現の仕方を理解し、横書きのきまりやコンマの書き方を確認する。
- <評価> \_\_\_\_\_
- ② 事例作文の文章構成について理解している。  
《発言・ワークシート》
- ③ 取材メモから説明したいことやまとまりを考え、組立て表を作ることを理解している。  
《発言・ワークシート》
- ④ 事例作文の記述の特徴について理解している。  
《発言》



第 3 次  
自由題材で説明書を書く。  
（5 時間）

- ⑤ 自由題材で説明することを決め、取材メモを書く。
- ⑥ 取材メモを基に、組立て表を作る。（本時）
- ⑦ 組立て表を基に目次、標題、前書き部分を記述する。
- ⑧ 組立て表を基に、説明書の前半部分を記述する。
- ⑨ 組立て表を基に、説明書の後半部分を記述する。
- ⑩ 書いた説明書を読み返し、推敲したり清書したりする。
- <評価> \_\_\_\_\_
- ⑤ 説明する事柄の内容や順序を思い出し、詳しい取材メモを書いている。《取材メモ》
- ⑥ 内容のまとまりや順序を考えて組立て表を作っている。《組立て表》
- ⑦ 事例作文を基に、読み手の興味を引く書き方をしている。内容のまとまりが段落になっていることを意識しながら説明書を書いている。《説明書》
- ⑧⑨ 組立て表を基に、内容のまとまりを考えて説明書を書いている。《説明書》
- ⑩ 書いた文章と組立て表を比べ、順序や内容に間違いがないか、もっと詳しく書いた方がよいところはないかを考え、より分かりやすい文章に直している。  
《発言・説明書》



第 4 次  
説明書交流会を行い、  
感想を交流する。  
（2 時間）

- ⑬ 発表を聞いて感想を話し合い、挑戦してみたいことを決める。
- ⑭ 説明書の通りに挑戦し、友達の説明書のよさに気づき、感想を発表する。
- <評価> \_\_\_\_\_
- ⑬ 説明書を読み、挑戦してみたいことを決めて感想カードに書いている。《発言・感想カード》
- ⑭ 友達の説明書のよさを考えながら感想を話し合い、感想カードに書いている。  
《発言・感想カード》

「すがたをかえる大豆」の学習で学んだ段落の役割に関する知識を活用して、事例作文の組立てを考える。

事例作文の学習で学んだ説明書の構成の仕方の知識・技能を活用して、構成を工夫し自由題材の説明書を書く。

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

取材メモを基に、説明したいことの内容や順序を考えてまとまりを作り、説明部分における文章の構成を考えることができる。

##### (2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

「すがたをかえる大豆」や事例作文の学習で学んだ、構成の仕方や段落の役割に関する知識・技能を生かし、自分の得意なことを紹介する説明書の構成を考える。

##### (3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点
つ か む	1 本時の学習課題を把握する。 (2分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">せつめいする内容やじゅんじょに気をつけてまとまりを作り、組立て表を完成させよう。</div>	全	○学習計画表を提示し、本時の学習内容について確認できるようにする。
	2 課題解決の見通しをもつ。 (1)構成の手順を確認する。 (5分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">&lt;組立て表の作り方&gt; ① 説明することのじゅんじょにそって取材メモをならべる。 ② 説明することの中心を考え、必要のないメモははぶいたり、必要なメモはつけたしたりする。 ③ 内容やじゅんじょを考えてまとまりを作る。 ④ それぞれのまとまりが説明したいことの中心を考え、小見出しをつける。 ⑤ 「ちょっと一言」を考える。 ⑥ 絵図を付けるところを考える。</div>	全	「どのようにして組立て表を作りますか。」 ○前時までの学習を想起させ、組立て表を作る手順を確認できるようにする。 ○「ちょっと一言」は、補足的な説明や意欲付けを図るための説明、注意事項などを書いてよいこと、また取材メモから考えてもよいし、新たに書き加えてもよいことを確認する。
	(2)構成の観点を考える。 (5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">&lt;まとまりを作るとき、もとにすること&gt; ・にている内容ごとにまとまりを作る。 ・順番や日程ごとにまとまりを作る。</div>	全	「読む人に分かりやすい説明書にするには、どのようなまとまりを作ればいいですか。」 ○説明する事柄によって、まとまりの作り方が違うことに気付かせ、自分の説明書はどのようなまとまりを作ればよいか考えることができるようにする。

取材メモを基に組立て表を作る	<p>3 取材メモを基に、順序やまとまりを考えて組立て表を作る。 (1) 構成の観点に沿って組立て表を作る。 (10分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順序を考えて取材メモを並べる。</li> <li>・必要のないメモは省いたり、必要なメモは付けたしたりする。</li> <li>・構成の観点を考えてまとまりを作る。</li> <li>・小見出しを付ける。</li> <li>・「ちょっと一言」を考える。</li> <li>・絵図を付けるところを考える。</li> </ul> </div> <p>4 組立て表を読み合い、よさを学び合う。 (1) 友達の発表を聞き、よい点を認め合う。 (8分)</p> <p>(2) 自分の組立て表を見直し、修正する。 (8分)</p>	<p>個</p> <p>全</p> <p>個</p>	<p>「順序をよく考えて取材メモを並べたら、まとまりを作って、説明書の組立て表を完成させましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 内容や順序など、構成の観点を意識してまとまりを作り説明したいことを中心に考えながら小見出しを付けたり、取材メモを基に「ちょっと一言」を書いたりしている。</p> <p>B 内容や順序など、構成の観点を意識してまとまりを作ったり、説明したいことを中心に考えながら小見出しを付けたりしながら組立て表を作っている。</p> <p>Cへの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成の手順や観点を確認し、説明したいことの順序に沿って取材メモを並べることができるようにさせる。</li> </ul> </div> <p>「組立て表を作るときに気を付けることと比べながら友達の発表を聞き、友達の組立て表のよいところを見付けましょう。」</p> <p>○発表をする児童には、まとまりを作る際の観点を明確にして発表するようにさせる。</p> <p>○友達の取材メモと組立て表を比較しながらまとまりを作った手順や観点についての発表を聞き、六つの観点到照らし合わせてよい点に気付くことができるようにする。</p> <p>「友達の発表から生かせることを考えて、自分の組立て表を見直しましょう。」</p>
	まとめる	<p>5 学習を振り返る。 (1) 学習について振り返り、自己評価をする。 (5分)</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。 (2分)</p>	<p>個</p> <p>全</p>